海のおせんについて

北方町立南学園 二年 とさき やまと

ぼくは、小さいころから海の生き物が大好きです。テレビのニュースなどで、魚やウミガメがプラスチックを食べているえいぞうを見て、しよげきをうけました。だから、ぼくは、海のおせんについて調べようと思いました。

海のゴミは、どんどんふえつづけていて、このまま何もないさくをしなれば二〇五〇年には、海にすむ魚や生物よりもゴミの方が多くなると言われています。生き物たちがゴミを食べてしまったら、しよかされずに、おなかの中にのこつてしまい、死んでしまうことがあります。ビニールぶくろやひもが海にあるだけで、からまつてみ動きがとれなくなつてしまうこともあります。けがをしたり、くるしんだりしていると思うと、とてもかわいそうです。ぼくは、広い海の中をのびのびと元気よくおよぐ生物が大好きなので、そんなすがたは見たくないです。ぼくにできることはなにか考えてみました。

一つ目は、ゴミはきちんとゴミばこへ捨てることです。あたり前のことだけど、できていない人もいます。公園へ行くと、のみおつたペットボトルやカンやおかしのふくろなど、おちているのをよく見ます。そのゴミが風により川から海にながれてしまいます。ぼくはそうならないためにも、ぜつ対に小さいゴミでも、持ち帰りたいです。もし知らなくてゴミを捨ててしまう子がいたら、ちゆう意をしたいと思います。

二つ目は、プラスチックの使い捨てをやめることです。どうしてもひつようなときだけ使うように気をつければ、へらすことができます。思います。今は、紙ストローなどがあります。少しのみにくいけど、かんきょうのために使いたいと思います。

三つ目は、リサイクルについてもつとべんきょうすることです。リサイクルのことについては、ゴミを新しいものにかえるという事は知つていたけど、今回リサイクルのことを調べてみて、しげんゴミのマークにもまだ知らないマークがあることを知りました。ゴミを捨てるときに、マークをいしきして見るようにして、お母さんに教えてもらいながら分べつをしていきたいと思つています。

ぼくは、しよう来、水ぞく館のしよくいんになるのがゆめで、海の生き物をまもる仕事がつたいです。今、ぼくができることは、とても小さいことかもしれないけど、海のかんきょうがよくなるためなら、できることはしていききたいと思つています。